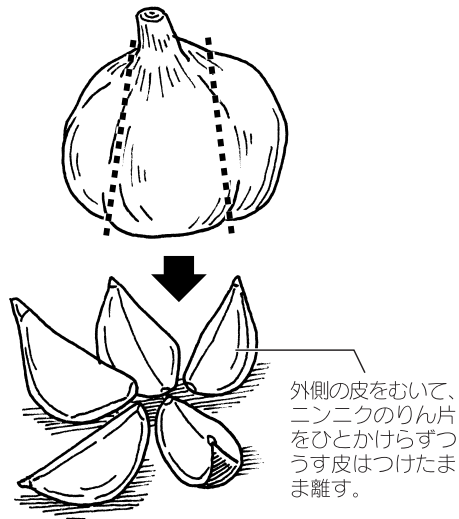


ニンニク

1 種の準備

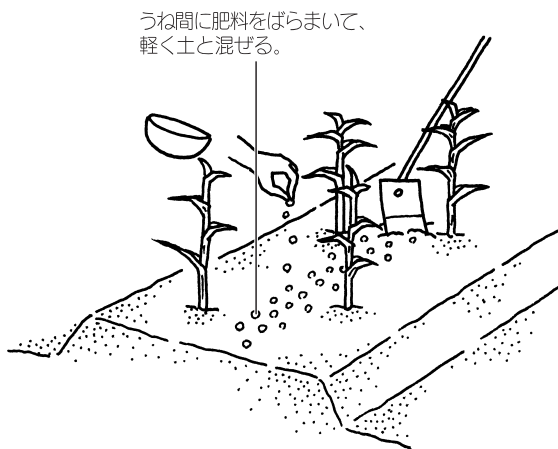
種の選び方 種球は大きな充実したものを選びます。植え付け前に分球を行い、病斑等がないか確認しましょう。



4 追肥・中耕

追肥

追肥は、2月下旬～3月上旬に、「JAファームやさいの追肥」1㎡あたり約20～30gをまきます。



2 畑の準備

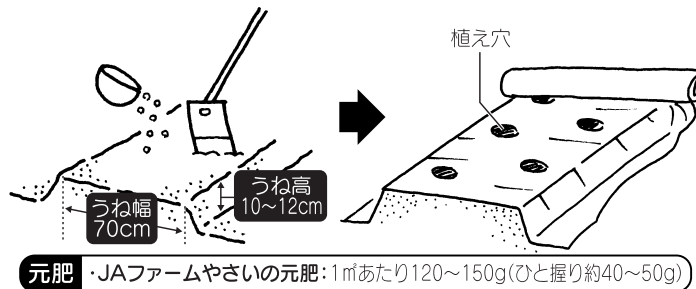
土作り

植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき、深く耕します。

土作り
 ・苦土石灰: 1㎡あたり100g
 ・JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2～3kg

元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行いマルチを張ります。



5 わき芽かき・摘蕾 (花蕾摘み)

わき芽かき

芽が2本伸びてきたら1本を取り除き、1本立ちにします。

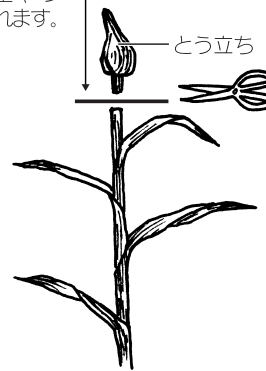
残す球の根元をおさえて、かき取る。



花蕾摘み

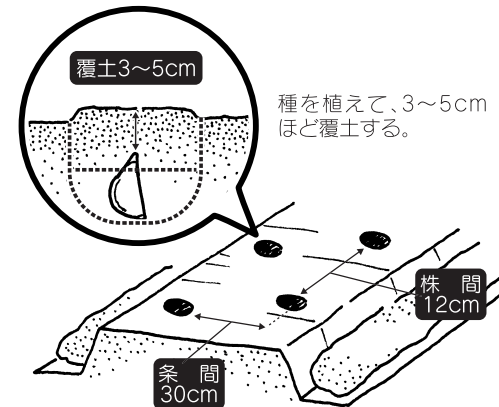
春になり、とう立ちして、つぼみが葉の先端より長く伸びだしたら、つぼみを早めに摘み取ります。摘み取った茎やつぼみは食べられます。

とう立ち



3 植え付け

植え付け時期は、9月下旬～10月中旬が適期です。一般に大きいりん片を使った方が大きな球になります。りん片は芽(尖った方)を上にして植え付けましょう。

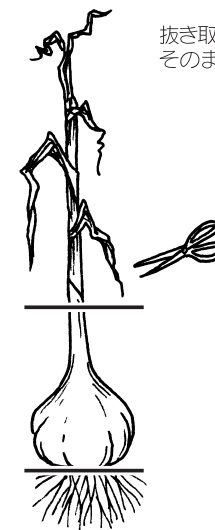


※株間の間隔を短くし、植え付けを多くすると小球だが多く取れ、荒く植えると大きい球になる。

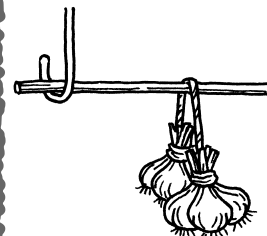
6 収穫・貯蔵

収穫 葉全体の2/3位が枯れてきたら収穫します。収穫が遅れると、土の中で割れることがあるので注意しましょう。

抜き取ったらすぐに根を切り離し、そのまま畑で2～3日乾かす。



貯蔵



乾いたら7～10球ずつ束ねて、風通しの良い軒下等に吊るして貯蔵する。

科名	ユリ科
原産地	中央アジア
連作障害	なし

制作 JAファーム 専門部会
 (無断転載禁止)